

見沼区にある芝浦工業大学の大宮キャンパス。ここで都市計画を学ぶ大學生たちが中心となつて、今から6年前に、まちづくり市民活動を支援する学生NPOが設立されました。

その名も「場助っ人」(ばすけっと)。これには、3つの想いが込められています。

「籠＝バスケット」のように、市民のまちに対する考え方や意見を受け止めたい。そして文字通り、困っている人たちを助けてあげたい。できればバスケットボールのように、みんなで楽しんでやりたい。名前から学生たちの熱意が伝わってきます。



東大宮プロジェクト
(写真上) 地元東大宮で住民アンケートを実施。
(写真中) 「東大宮クリーン大作戦」の様子。
(写真下) イベントの手伝いにより子ども会から届いた感謝状。

「場助っ人」へのご相談はこちら
〒337-8570 さいたま市見沼区深作307
芝浦工業大学環境システム学科水口研究室内 事務局長 白石奈津子
TEL: 687-5824 FAX: 687-5199
E-mail: basket_npo@hotmail.com

正会員・賛助会員も募集中!
「場助っ人」では、随時「正会員」を募集しています。学生ならどなたでも参加できます。また、活動に共感し、資金面で支援してくださる「賛助会員」もあわせて募集中です。お気軽に上記までご連絡ください。

「場助っ人」へのご相談はこちら
〒337-8570 さいたま市見沼区深作307
芝浦工業大学環境システム学科水口研究室内 事務局長 白石奈津子
TEL: 687-5824 FAX: 687-5199
E-mail: basket_npo@hotmail.com

正会員・賛助会員も募集中!
「場助っ人」では、随時「正会員」を募集しています。学生ならどなたでも参加できます。また、活動に共感し、資金面で支援してくださる「賛助会員」もあわせて募集中です。お気軽に上記までご連絡ください。

「場助っ人」へのご相談はこちら
〒337-8570 さいたま市見沼区深作307
芝浦工業大学環境システム学科水口研究室内 事務局長 白石奈津子
TEL: 687-5824 FAX: 687-5199
E-mail: basket_npo@hotmail.com

正会員・賛助会員も募集中!
「場助っ人」では、随時「正会員」を募集しています。学生ならどなたでも参加できます。また、活動に共感し、資金面で支援してくださる「賛助会員」もあわせて募集中です。お気軽に上記までご連絡ください。

「場助っ人」へのご相談はこちら
〒337-8570 さいたま市見沼区深作307
芝浦工業大学環境システム学科水口研究室内 事務局長 白石奈津子
TEL: 687-5824 FAX: 687-5199
E-mail: basket_npo@hotmail.com

正会員・賛助会員も募集中!
「場助っ人」では、随時「正会員」を募集しています。学生ならどなたでも参加できます。また、活動に共感し、資金面で支援してくださる「賛助会員」もあわせて募集中です。お気軽に上記までご連絡ください。

「場助っ人」の背景を現在の事務局長である白石奈津子さんに聞きました。「市民が何か行動を起こそうとする時に、まちづくりの専門的な知識がない、手探りで進めた結果、頓挫してしまうことが多いと聞きます。学生でもお役に立てるがあれば、との思いで平成12年に設立したそうです」



学生がまちづくりの“お助け役”に

まちづくり市民活動を支援する「場助っ人」(ばすけっと)

「場助っ人」とは、芝浦工業大学大宮キャンパス(見沼区)で

都市計画を学ぶ学生たちが中心となり設立したNPO(非営利団体)です。

一体どんな活動をしているのか、キャンパスを訪ねました。



白石奈津子さん(事務局長)
大学院工学研究科1年生 建設工学専攻

辻田周史さん
大学院工学研究科2年生 建設工学専攻



櫻井淳さん
システム工学部 環境システム学科3年生



武田直之さん(副事務局長)
システム工学部 環境システム学科4年生

people×peopleコーナーは、まちづくり活動の情報交換の場です。このコーナーへの掲載を希望される団体または個人の方は、さいたま市都市総務課(TEL: 829-1394)までお問い合わせください。

主要な活動プロジェクト名	期間
大宮東口はっするねっと支援プロジェクト	2003.04～継続中
東大宮プロジェクト	2002.04～継続中
北鴻巣まちづくり研究会支援事業	2002.04～2005.03
元荒川の自然を守る会支援事業	2002.04～2005.03
はらいち台団地における地区計画策定支援事業	2003.04～2005.03
学生まちづくり学会開催	2002.04～継続中
見沼ファーム21加田屋たんぼ公園における支援事業	2003.05～2003.10
都営住宅建替に伴う地域住民活動の支援事業	2001.07～2003.04
方南まちの会支援プロジェクト	2001.06～2002.03

「都市計画の知識はあるが、実践の場がない」という学生たちにとっても、実際のまちづくりに関わることは、貴重な経験になります。

これまでに、バリアフリーのまちづくりを進める杉並区の方南町や、地区計画の策定をめざす上尾市はらいち台団地、元荒川の河川敷や桜並木などの自然環境を保全する市民活動などを支援してきました。「歩みを拾つて歩くだけでも、まちのさまざまな問題に気づくきっかけになります。まず、まちを見て歩き、関心を持つこと。そして、自分のまちを好きになることがまちづくりの始まりなのだと思います」(辻田周史さん) キャンパスがある地元・JR東大宮駅周辺では、地域住民にまちへの不満などを聞くアンケートを行いました。その結果、「ごみ問題」への関心が高いことがわかり、「東大宮クリーン大作戦」を実施。これが縁で自治会の定例会や、お祭りなどのイベントにも積極的に参加して、交流を深めています。

「場助っ人のメンバーは、もう地域の人間だと思っているから、と何気なく言われて、それがすぐくられしかった」と話す武田直之さんは、まもなく就職して社会に出て行きます。「まちって、人と人とのつながりでつくついくんだなあと実感しました。地域のおじさん、おばさんたちからそ